

バンドン市内有料道路計画【インドネシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課
評価年月日 令和4年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インドネシア共和国
(2) 案件名	バンドン市内有料道路計画
(3) 目的・事業内容 (注) 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>バンドン市内において、新たに有料道路を建設することにより、道路輸送容量の拡大を図り、もって同市内の深刻化する交通渋滞の緩和を通じて、同市内の民生向上ならびに投資環境改善に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事 ・資機材調達 ・コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成23年7月19日 イ 供与限度額：136.05億円 ウ 金利：1.4% (0.01%) エ 償還（据置）期間：25年（7年） オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、バンドン市における高速道路交通の需要予測では、最大の区間で28,300台/日(2020年)になると見込まれており、同都市圏の人口は、2007年時の790万人から2025年には1,230万人（年平均増加率約2%）に増加すると予測されていた。現在においても、当初見込みほどではないものの、人口は増加傾向(879万人/2020年)にあり、それに伴う高速道路交通の需要増加が引き続き見込まれることから、現在も本事業に関する社会的ニーズは変わらない。ただし、一部区間については既にインドネシア政府予算にて整備済み。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>建設予定区域の用地取得遅延によって、事業が開始されていない。実施機関である公共事業・公営住宅省が、早期の用地取得を西ジャワ州政府に働きかけており、また、中央政府が用地取得費を負担する方法について模索中であり、未だ予算確保はなされていない。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズは引き続き認められ、事業完成後は一定の効果が見込まれている。他方、事業開始を妨げている用地取得の問題が長期化しており、インドネシア政府の取組状況を留意深くフォローしつつ、案件実施の可否を検討する。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・国際協力機構の案件検索 ・国際協力機構の事業事前評価表 ・その他国際協力機構から提出された資料